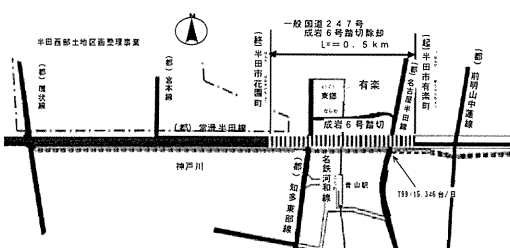


## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道247号 <small>ならわ</small> 成岩6号踏切	事業区分	一般国道	事業主体	愛知県	
起終点	自：愛知県半田市有菜町 至：愛知県半田市花園町	延長	0.5 km			
事業概要						
<p>一般国道247号は、愛知県名古屋市を起点とし、豊橋市に至る延長約180 kmの幹線道路である。成岩6号踏切は、名古屋鉄道河和線との平面踏切道を除去することで、半田市街地の交通混雑を緩和し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長約0.5 kmの4車線道路である。</p>						
H9年度事業化	S52年度都市計画決定 (H年度変更)	H12年度用地着手	H年度工事着手			
全体事業費	約 115億円	事業進捗率	29%	供用済延長	0 km	
計画交通量	台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.0  (残事業) 3.1	総費用 (残事業)/(事業全体)  73/115億円 事業費：73/115億円 維持管理費：0.3/0.3億円	総便益 (残事業)/(事業全体)  224/224億円 走行時間短縮便益：209/209億円 走行費用減少便益：14/14億円 交通事故減少便益：1/1億円	基準年  平成18年		
事業の効果等						
踏切の遮断で交通が昼夜阻害され、踏切と交差点が近接しているため交通渋滞が極めて激しい区間である。鉄道を高架化するとともに拡幅整備を行うことにより、渋滞の改善が見込まれる。						
関係する地方公共団体等の意見						
知多地区道路整備促進期成同盟会及び衣浦蒲郡線道路建設期成同盟会の中でも、交通渋滞の解決や交通事故防止のため早期整備が期待されている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
重複路線である主要地方道半田常滑線は、西三河地域から中部国際空港への主要アクセス路としての役割が期待されており、平成17年2月の空港開港後、空港への多大な自動車アクセス需要が発生している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
必要な用地は概ね90%が契約済みであり、残用地についても引き続き交渉を続けていくとともに、来年度からは側道付替工事と鉄道仮線工事の一部に着手し、H22年度に鉄道高架化完了及び4車線供用予定である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
借地地権者との交渉難航により事業が長期化しているが、今未契約案件は3名を残すのみであり、一定の交渉期間は要するものの、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。						
施設の構造や工法の変更等						
最適な事業計画であり事業の見直しの必要はないが、鉄道工事については全ての事業用地を確保の後、一斉に工事着手することで工事の効率化と工期の短縮化によるコストの縮減を図ります。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、事業の進捗の見込み及びコスト縮減方策と代替案の観点から事業継続が妥当である。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。